■生活ニーズ実態調査（案）の質問項目について

資料４－２

今回の調査は、第4次大阪府障がい者計画の中間評価・見直し作業の中で実施するものであり、計画期間の半分近くが経過した中で、障がい者の生活がどのように変わったのか、その変化を捉えることを目的とする。

そのため、基本的には、前回の内容を踏襲した調査とすることが望ましいと考えるが、状況変化を踏まえた質問内容の修正や、新規項目の追加について、回収率も考慮しながら再検討することとしたい。

下表は、検討のたたき台として、平成22年度の調査票をもとに、事務局の意見を整理したもの。

【平成22年度の調査票に係る事務局意見の整理】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 問番号 | 平成22年度調査項目 | 事務局意見 |
| 基本的事項 | 問１ | 調査票記入者（本人、家族など） | 〇難病等の状況に係る質問項目を追加すべきではないか。〇「障がい程度区分」は「障がい支援区分」に修正。〇性別の質問について、ＬＧＢＴへの配慮が必要ではないか。 |
| 問２ | 居住市町村、年齢、性別 |
| 問３ | 身体障がい者手帳の所持状況　等級 |
| 問４ | 身体障がい者手帳　障がい種別 |
| 問５ | 療育手帳の所持状況　総合判定 |
| 問６ | 精神障がい者保健福祉手帳の所持状況　等級 |
| 問７ | 障がい程度区分 |
| 問８ | 障がいがわかった年齢 |
| 問９ | 1か月の収入 |
| 地域やまちで過ごす | 問１０ | 現在の平日の過ごし方、休日の過ごし方 |  |
| 問１１ | 今後、希望する平日の過ごし方、休日の過ごし方 |  |
| 問１２ | 〔学校に通っている方〕現在の夏休みなどの過ごし方と今後、希望する夏休みなどの過ごし方 |  |
| 問１３ | 現在、一緒に暮らしている人、今後、暮らしたい人 |  |
| 問１４ | 希望の暮らしをするために必要なこと |  |
| 問１５ | 外出するときに困ることや不便に思うこと |  |
| 学ぶ | 問１６ | 最後に卒業した学校 |  |
| 問１７ | 学校で困ったこと（現在困っていること） |  |
| 問１８ | 学校でしてほしかったこと（いましてほしいこと） |  |
| 問１９ | 〔卒業した方〕もっと色々学習したいと思った時に、困ることや不便に思うこと | 〇「5学習の内容に障がいへの配慮がない」について、「学習内容に配慮がない」ではなく、「障がいの特性に応じた配慮がない」とすべきではないか。 |
| 働く | 問２０ | 就労状況 | 〇働いているかいないかだけでなく、どのように働いているか、今後どのように働きたいか、も追加すべきではないか |
| 問２１ | 〔退職経験のある方〕仕事を辞めた理由 | 〇働けない、働き続けられない理由と、働く、働き続けたいと思う理由、また、そのために望むこと、を聞いてはどうか。 |
| 問２２ | 〔就Ｂで働いている方〕工賃増額希望額 | 〇工賃に限らず、働いてどれくらいの収入が欲しいかを聞いてはどうか。 |
| 心や体、命を大切にする | 問２３ | リハビリテーションや生活訓練の状況 | 〇健康保持の取り組み状況についても聞いてはどうか。 |
| 問２４ | 通院状況 |  |
| 問２５ | 病院で困ること、不満なこと |  |
| 問２６ | 日頃の生活でのストレスの有無、悩みや心配事を相談する人 |  |
| 楽しむ | 問２７ | 地域住民との交流の状況 | 〇社会参加に関する関心を確認する項目を追加してはどうか。 |
| 問２８ | ボランティア活動への参加経験と参加への意向 |
| 問２９ | 自分以外の障がい者のためにできると思うこと |
| ひととして尊厳を持って生きる | 問３０ | ニュース等を得ているところ、今後、得たいところ | 〇コミュニケーション支援に係る調査項目（量的・質的な充実度、認知度、利用意向、利用しない理由等）を追加してはどうか。 |
| 問３１ | コミュニケーション手段 |
| 問３２ | 障がいがあるためにあきらめたこと | 〇回答は一つに絞らなくても良いのではないか。 |
| 問３３ | 差別や嫌な思いをした経験 | 〇場所に行政機関も入れるべき |